

朝霞市立朝霞第一中学校 第三学年 技術・家庭科（技術分野）学習案内

担当 深谷 昌義

※第3学年の技術・家庭科は技術と家庭科を隔週で1年間行います。

第3学年の学習内容

技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境との関わりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

技術分野の内容

A 材料と加工に関する技術
 (1)生活や産業の中で利用されている技術
 (2)材料と加工法
 (3)材料と加工法に関する技術を利用した製作品品の設計・製作
 (4)技術にかかわる倫理観や新しい発想を生み出し活用しようとする態度の育成

B エネルギー変換に関する技術
 (1)エネルギー変換機器の仕組みと保守点検
 (2)エネルギー変換に関する技術を利用した製作品品の設計・製作

C 生物育成に関する技術
 (1)生物育成環境と育成技術
 (2)生物育成に関する技術を利用した栽培

D 情報に関する技術
 (1)情報ネットワークと情報モラル
 (2)デジタル作品の設計・製作
 (3)プログラムによる計測・制御

【ねらい】
 ・生活や産業の中で技術が果たしている役割や工具・工作機械の使用方法及びエネルギーの変換、生物育成などの実践的・体験的な学習活動を通して、習得した知識と技術を生活に生かす態度と能力を身につけることです。

学習内容	学習のねらい
総時数 17.5時間 D 情報に関する技術 7.5 ・制御の基本的な仕組み 2 ・簡単なプログラム作成 4 ・アプリケーションの利用 1.5	・計測・制御の基本的な仕組みを理解し、簡単なプログラムを作成できる。 ・アプリケーションソフトの基本的な操作ができる
A 材料と加工に関する技術 10 ・材料と加工法 1 ・材料と加工法に関する技術を利用した製作品品の設計・製作 9	・金属の特徴を知る。 ・金属を簡単な方法で加工体験し、材料に応じた加工方法を習得する。

評価の観点と方法

技術・家庭科は「生活や技術への関心・意欲・態度」「生活を工夫し創造する能力」「生活の技能」「生活の知識・理解」の**4つの観点**で評価します。

① 生活や技術への関心・意欲・態度
 積極的に取り組む意欲や態度などを重視し評価します。主に、作業や実習、実習計画への積極性、**毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、レポートや作文、家庭での実践記録**などで評価します。

② 生活を工夫し創造する能力
 習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場を工夫したり、創造したりする状況などにより、多面的に評価します。**提出された作品や、学習したことへの活用状況（応用度）**など

③ 生活の技術
 実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に着的かどうかを評価します。主に学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより多面的に評価します。**実技テストや学習したことを適切に行えるか等**

④ 生活の知識・理解
 実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身につけているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、**レポート、学習プリントの記入状況、ペーパーテスト**などを評価します。

以上の観点で、充分満足できると判断したものは A、おおむね満足できると判断したものは B、努力が必要なものを C と評価し、総合的に判断をして5段階の評定をつけます。